

平成 27 年度 10 月 24 日(土) 第 2 回難病患者在宅医療支援センター研修会

「ご感想」

* たいへんわかりやすかったです。しかし、実際に嚥下リハをどちらにどのように依頼していいのかわからない状態です。(診療所 医師)

* 多職種それぞれから嚥下に対する考え方を色々なアングルで聞けて良かった。(病院 訪問診療医師)



* 誤嚥性肺炎で長期入院された方の家族からの要望ですが、家族に安全な食事を与えたいが、それに関するサポートが入院中になかったそうです。今後、この講演内容をもとに患者家族のサポートができればと思う。(診療所 歯科医師)

* 各先生の講演がすべて具体的で良かったです。明日からすぐ役に立って生かせることがたくさんありました。ありがとうございました。(訪問看護ステーション 看護師)

* 理学療法士の先生のお話が実際のケアに取り入れることができるのではないかと興味深く聞かせて頂きました。入院している患者さんにもっと多く関わっていただき、本人・家族が在宅で実際に行える方法を指導して頂けたらいいと思います。在宅でできるリハ教えて下さい。(訪問看護ステーション 看護師)



* 姿勢・食事・嚥下についてわかりやすかったです。
食事については管理栄養士さんによる資料は利用者さんに伝えやすく参考になりました。聴診器で聞いてみます。
(訪問看護ステーション 看護師)



* 嚥下状態の悪い方に対する知識を得ることができ、良い学びとなりました。今後の活動に活かしたいと思います。ありがとうございました。(ケアプランセンター ケアマネジャー)

* 発表もスライドも非常にわかりやすく、理解しやすかったです。栄養や嚥下については、人が生きていく上で大切なテーマであり、今後のリハビリの参考にしたいです。(訪問看護ステーション PT)



* 食事については当院で対応しているものと似ていた。(病院 管理栄養士)

* 最後の大洞先生のお話、すごく良かったです。ST もいない、評価できる医師もない病院でPT・OT が中心に嚥下についてやっていますが、難しく、大変勉強になりました。(病院 OT)

